

6/22 まちかどアドバイザー 認知症テーマに勉強会

認知症をテーマに開かれた勉強会



町民の皆様と行政の橋渡し役を担う「まちかどアドバイザー」の勉強会が6月22日、老人福祉センターで開かれ、9人が認知症の知識を深めました。

アドバイザーは、相談者の悩みを聞き、所管の窓口を紹介することが主な役割。勉強会では、グループホーム「べにばら妹背牛」の北井秀幸さんが認知症への理解を呼びかけました。

6/22 岩田地崎・日本高圧・ 山田 特定JVに感謝状

感謝状の贈呈を受ける岩田地崎建設の渡邊・取締役専務執行役員



町役場駐車場の区画線塗装を行った、岩田地崎・日本高圧・山田 特定建設工事共同企業体（特定JV）に対する感謝状の贈呈式が6月22日、町長室で行われました。

塗装は、地域貢献活動の一環で、5月16日に実施。この日は岩田地崎建設（札幌）の渡邊直樹・取締役専務執行役員が田中一典町長から感謝状を受け取りました。

なお、同JVが架替工事を進める道道増毛稲田線妹背牛橋は来春、開通する予定です。

6/15 戦没者追悼式 遺族がめい福祈る

忠魂碑に献花する遺族会の柳会長



戦没者追悼式が6月15日、妹背牛神社境内の忠魂碑前で行われ、遺族らが戦没者のめい福を祈りました。

173柱の英霊が眠る忠魂碑の前には遺族、来賓の計54人が参列。献花した遺族を代表し、町遺族会の柳良信会長が「祖国を守るために尊い命を捧げた英霊の思いや戦争の悲惨さを後世に語り継ぎ、私たちの心の支えになる忠魂碑も守っていききたい」と述べ、平和への気持ちを新たにしました。

6/17 個性豊かな力作 250 点 町民作品展



多彩なジャンルの作風が来館者を楽しませた町民作品展

芸術文化に親しむ個人・団体の個性豊かな作品を集めた町民作品展が6月17日～23日の日程で、町民会館で開かれました。

手芸や陶芸を楽しむ個人をはじめ、文化サークルや介護福祉施設などの団体が約250点の作品を展示。色鮮やかな花に見立てた手芸作品や四季折々の自然風景を切り取った写真、フクロウをモチーフにした木工芸品など多彩なジャンルの作品が館内を彩り、訪れる人たちの目を楽しませました。

7/1 社会を明るくする運動 メッセージを伝達

メッセージを伝達する梅澤支部長（写真左）



犯罪や非行のない地域の実現をめざす「社会を明るくする運動」に合わせ、深川地区保護司会妹背牛支部の梅澤見堂支部長ら3人が7月1日、田中一典町長に内閣総理大臣のメッセージを伝達しました。

メッセージには、社会的な孤立など“生きづらさ”を抱える人に寄り添い、立ち直りを支える内容が盛り込まれており、梅澤支部長は「道徳観を養える社会の実現に」と述べました。

6/30 今年の新規就農者 妹背牛町は3人



日焼けした顔で、今後の抱負を述べる妹背牛町の新規就農者

JA北いぶきの新規就農者激励会が6月30日、同JA妹背牛支所で開かれ、希望を持って営農に励む若き生産者が、それぞれ抱負を述べました。

同JA管内3町の後継者は10人で、このうち、妹背牛町は3人が新たに就農しました。

激励会では、黒田洋一組合長が「栽培しながら作物を見る力を学んで、営農に励んでください」と後継者にエールを送りました。

7/4 生まれてくる赤ちゃん のおもちゃ 手作り

小林さん（中央）に人形の手編みを教わる女性



出産の準備に向けた「マタニティのつどい」が7月4日、子育て世代交流施設「from ☆ Moko」で開かれ、妊娠中の女性が生まれてくる赤ちゃんのために動物の人形を作りました。

同施設のスタッフ・小林明美さんを講師に、参加した女性たちは、毛糸の手編みに挑戦。ゾウやクマなど動物をモチーフにした人形の中にはビニール袋が入っており、赤ちゃんが握ると音が鳴る仕組み。小林さんは「泣き止む仕掛けにもなります」と話しました。

7/11 「生花リレー」で妹背牛の花をPR



生花を眺めながら、田中町長（右）と歓談する原さん

北空知6市町の花き生産者でつくる「北育ち元気村花き生産組合」は、管内の各自治体に生花を届ける「生花リレー」を展開し、地元の花をPRしました。

このうち、同組合の理事で妹背牛支部長の原力哉さんらは7月11日に、地場産のHBSシネンシスや雪中スノーボールなど6種類の生花を寄贈。ピンクやホワイトの生花が役場正面入り口を明るく彩りました。

フラワーアレンジメントを前に、田中一典町長と歓談した原さんは「妹背牛の花をアピールするきっかけに」と、話に花を咲かせました。



テレビ番組のロケで妹背牛の
絶品スイーツを味わう友近さん

友近さんが番組ロケで妹背牛へ

人気お笑いタレントの友近さんが7月17日、HBCの番組「おさんぽ北海道～この旅はお世話になります～」のロケで妹背牛町を訪れ、商店街巡りを楽しみました。

番組は、北海道をこよなく愛する友近さんのひとり旅を放送。町内各店で買い物を楽しむ友近さんの様子や、町民の皆さんとの出会いを撮影しました。

放送日は、8月20日午後4時30分からです。友近さんの軽快なトークをお楽しみに。

旗の波街頭啓発で安全運転を呼びかけ

夏の交通安全運動が全道一斉に始まった7月13日、妹背牛町内では、道道深川雨竜線沿いのわかち愛もせうしひろば前で旗の波街頭啓発が行われました。

交通安全協会や交通安全推進委員会、老人クラブ連合会などの各団体から60人が参加。「安全運転」と書かれた黄色い旗を持って沿道に並んだ参加者たちは、道ゆくドライバーに飲酒運転の防止を呼びかけるポケットティッシュを配りました。



安全運転を呼びかける参加者たち



放水訓練に励む消防団員

妹背牛消防団が放水訓練 安全を守る使命

深川地区消防組合妹背牛消防団などは6月、地域住民の安全を守り、防火思想の普及を図るため、消防訓練に励みました。

妹背牛支署と連携し、消防技術を向上させることが目的。消防庁舎前で行われた放水訓練では、団員らが機敏な動きを披露し、士気を高めました。

なお、大人数が参加する本年度の妹背牛消防演習は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止としました。

消防行政の発展に 安藤さんが30万円を寄附

1区3町内の安藤一男さんは6月、消防行政の発展に役立ててほしいと、町に30万円を寄附しました。

元・深川地区消防組合深川消防署妹背牛支署長の安藤さんは春の危険業務従事者叙勲で、瑞宝単光章（消防功労）を受章。「長年お世話になった町の消防施策のために」と述べ、田中一典町長から感謝状を受け取りました。



田中町長に寄附金を手渡す安藤さん